

平成 17 年 2 月期

第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 16 年 7 月 15 日

上 場 会 社 名

株式会社リヒトラブ

(コード番号 7975 大証・名証 第二部)

(URL <http://www.lihit-lab.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 田中 経久

責任者役職・氏名 取締役経理部長 大内 高明

TEL(06)6946-2525

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成 17 年 2 月期第 1 四半期業績の概況 (平成 16 年 3 月 1 日 ~ 平成 16 年 5 月 31 日)

## (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 2 月期第 1 四半期	2,987	218	201	109
(参考) 16 年 2 月期	9,622	399	397	155

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 2 月期第 1 四半期	5.95	—
(参考) 16 年 2 月期	6.95	—

(注) 当第 1 四半期より四半期決算を実施しておりますので、前年第 1 四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

当社グループの業績の特性として、季節的要因により、売上高、利益とも上半期に割合が高くなる傾向があります。

## [ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、原油価格の高止まりやイラク問題の長期化など不透明な状況を残しつつも、デジタル家電の好調や輸出の増加、民間設備投資の回復、株価上昇など緩やかな回復局面に入っております。

一方、当業界におきましては、低価格化と顧客の購買動向の変化、流通チャンネルの多様化に拍車がかかるという厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主業務である事務用品等の需要確保に努めました結果、おおむね予定通りに推移いたしました。また、不動産賃貸は堅調に推移いたしました。

この結果、当第 1 四半期における連結売上高は 2 9 億 8 千 7 百万円となりました。

なお、出荷業務の効率化をはかるため、前連結会計年度に着工しておりました物流設備は、予定通り本年 5 月に竣工、稼働いたしました。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第1四半期	15,228	9,082	59.6	495.70
(参考)16年2月期	14,749	9,097	61.7	494.98

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年2月期第1四半期	537	△ 100	△ 4	2,045
(参考)16年2月期	927	△ 494	△ 146	1,612

## [ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億3千2百万円増加し、20億4千5百万円（26.8%増）となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における営業活動による資金の増加は、5億3千7百万円となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益2億2百万円、たな卸資産の減少と仕入等債務の増加などによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動による資金の減少は、1億円となりました。これは、主として生産及び物流効率化のための有形固定資産の取得によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における財務活動による資金の減少は、4百万円となりました。これは、主として配当金の支払などによるものであります。

## 3.平成17年2月期の連結業績予想（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	5,220	400	220
通期	9,800	550	290

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 15円83銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

当社グループの中間期及び通期業績予想につきましては、当初予想（平成16年4月16日公表）から変更いたしておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。